



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 東亜道路工業株式会社

コード番号 1882 URL <http://www.toadoro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大西 義嗣

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 野田 雅之

TEL 03-3405-1812

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	67,179	8.4	2,229	319.8	2,131	537.6	1,136	—
24年3月期第3四半期	61,963	15.4	531	224.8	334	—	25	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,155百万円 (945.1%) 24年3月期第3四半期 110百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	23.04	—
24年3月期第3四半期	0.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	70,169	22,616	31.6
24年3月期	73,551	21,394	28.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 22,202百万円 24年3月期 21,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	1.8	3,300	21.5	3,100	33.0	2,000	7.9	40.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記情報)に関する事項」(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	52,200,239 株	24年3月期	52,200,239 株
25年3月期3Q	1,730,967 株	24年3月期	2,926,114 株
25年3月期3Q	49,326,910 株	24年3月期3Q	48,541,413 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	82,500	2.1	2,600	28.8	2,400	26.8	1,600	6.0	31.51

直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 事業別受注・売上・次期繰越高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や個人消費の改善など内需による緩やかな回復の兆しがみられましたが、世界景気の減速や円高の長期化の影響等から、景気の先行きについては引続き不透明な状況にて推移いたしました。

当社グループの主要事業であります道路建設業界におきましては、震災復興に関連した受注及び大型補正予算等による建設需要の持直しがみられるものの、原材料をはじめとする建設資材の変動などは引続き厳しい環境にあります。

このような状況下におきまして、当社グループの当第3四半期連結累計期間における受注高は、78,682百万円（前年同四半期連結累計期間比12.4%増加）となり、売上高は67,179百万円（前年同四半期連結累計期間比8.4%増加）となりました。

損益につきまして、営業利益は2,229百万円（前年同四半期連結累計期間、営業利益531百万円）、経常利益は2,131百万円（前年同四半期連結累計期間、経常利益334百万円）、四半期純利益は1,136百万円（前年同四半期連結累計期間、四半期純利益25百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建設事業

当第3四半期連結累計期間の受注高は50,863百万円（前年同四半期連結累計期間比14.5%増加）となりました。完成工事高は、39,359百万円（前年同四半期連結累計期間比8.3%増加）となり、営業利益は1,073百万円（前年同四半期連結累計期間、営業損失354百万円）となりました。

②建設材料等の製造販売・環境事業等

当第3四半期連結累計期間の売上高は27,819百万円（前年同四半期連結累計期間比8.6%増加）、営業利益は2,122百万円（前年同四半期連結累計期間、営業利益1,886百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、未成工事支出金等の増加はあったものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,720百万円減少し、48,556百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ338百万円増加し、21,612百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3,382百万円減少し、70,169百万円となりました。

(負債)

流動負債は、未成工事受入金が増加いたしました。支払手形・工事未払金等、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ5,202百万円減少し、38,667百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ598百万円増加し、8,884百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,604百万円減少し、47,552百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,222百万円増加し、22,616百万円となりました。

この結果、自己資本比率は31.6% (前連結会計年度末は28.6%) となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成24年5月14日に発表いたしました平成25年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。

建設事業において工事の進捗が当初の見通しを上回るとともに、コストの抑制に努めた結果、売上高につきましては105,000百万円 (前回予想比1,500百万円の増収)、利益におきましても営業利益3,300百万円 (前回予想比700百万円の増益)、経常利益3,100百万円 (前回予想比800百万円の増益)、当期純利益は2,000百万円 (前回予想比700百万円の増益) となる見込みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ36百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,740	7,797
受取手形・完成工事未収入金等	33,572	26,060
未成工事支出金	3,499	10,912
販売用不動産	32	—
商品及び製品	775	543
仕掛品	268	205
材料貯蔵品	1,051	873
繰延税金資産	449	329
その他	2,253	2,140
貸倒引当金	△366	△306
流動資産合計	52,277	48,556
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2,694	2,618
機械・運搬具(純額)	1,646	2,040
土地	12,816	12,815
リース資産(純額)	608	801
建設仮勘定	6	6
その他(純額)	143	138
有形固定資産合計	17,916	18,420
無形固定資産		
投資その他の資産	124	133
投資有価証券	1,239	1,221
長期貸付金	1,388	1,294
繰延税金資産	773	785
その他	808	657
貸倒引当金	△977	△899
投資その他の資産合計	3,233	3,058
固定資産合計	21,274	21,612
資産合計	73,551	70,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	26,997	20,913
短期借入金	10,180	8,379
1年内償還予定の社債	582	449
未払法人税等	719	706
未成工事受入金	2,512	6,108
完成工事補償引当金	110	72
工事損失引当金	240	225
事業整理損失引当金	70	23
その他	2,456	1,788
流動負債合計	43,870	38,667
固定負債		
社債	839	615
長期借入金	4,215	4,876
繰延税金負債	89	83
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付引当金	958	966
債務保証損失引当金	16	7
資産除去債務	76	88
その他	804	960
固定負債合計	8,286	8,884
負債合計	52,157	47,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,584	7,584
資本剰余金	6,904	6,913
利益剰余金	6,340	7,230
自己株式	△701	△396
株主資本合計	20,128	21,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298	278
土地再評価差額金	592	592
その他の包括利益累計額合計	890	870
少数株主持分	374	414
純資産合計	21,394	22,616
負債純資産合計	73,551	70,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	61,963	67,179
売上原価	56,828	60,319
売上総利益	5,135	6,859
販売費及び一般管理費	4,604	4,629
営業利益	531	2,229
営業外収益		
受取利息	21	20
受取配当金	20	19
持分法による投資利益	1	8
債務保証損失引当金戻入額	9	9
貸倒引当金戻入額	15	22
その他	82	82
営業外収益合計	150	162
営業外費用		
支払利息	211	163
金融手数料	97	75
その他	38	21
営業外費用合計	347	260
経常利益	334	2,131
特別利益		
固定資産売却益	22	34
その他	2	6
特別利益合計	25	40
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産除却損	46	12
減損損失	—	4
災害による損失	23	—
その他	1	0
特別損失合計	74	19
税金等調整前四半期純利益	285	2,152
法人税等	243	977
少数株主損益調整前四半期純利益	42	1,175
少数株主利益	16	39
四半期純利益	25	1,136

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42	1,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	△20
土地再評価差額金	169	—
その他の包括利益合計	68	△20
四半期包括利益	110	1,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94	1,116
少数株主に係る四半期包括利益	16	39

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	製造販売・環境事業等	計
売上高			
外部顧客への売上高	36,357	25,606	61,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39	678	717
計	36,396	26,284	62,681
セグメント利益又は損失(△)	△354	1,886	1,532

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,532
セグメント間取引消去	△21
全社費用(注)	△979
四半期連結損益計算書の営業利益	531

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	製造販売・環境事業等	計
売上高			
外部顧客への売上高	39,359	27,819	67,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	1,106	1,167
計	39,420	28,925	68,346
セグメント利益	1,073	2,122	3,196

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び
当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,196
セグメント間取引消去	31
全社費用(注)	△998
四半期連結損益計算書の営業利益	2,229

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	建設事業	製造販売・ 環境事業等	計		
減損損失	—	4	4	—	4

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「建設事業」のセグメント利益が13百万円増加し、「製品販売・環境事業等」のセグメント利益が22百万円増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 事業別受注・売上・次期繰越高

区 分			前第3四半期連結累計期間 平成23年4月1日 平成23年12月31日		当第3四半期連結累計期間 平成24年4月1日 平成24年12月31日	
			金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
前期繰越高	建設事業	舗装工事	20,302	84.1	16,201	80.1
		土木工事	3,842	15.9	4,037	19.9
		計	24,144	100.0	20,238	100.0
	製造販売・環境事業等		—	—	—	—
	合 計		24,144	100.0	20,238	100.0
受注高	建設事業	舗装工事	38,688	55.2	43,659	55.4
		土木工事	5,738	8.2	7,203	9.2
		計	44,426	63.4	50,863	64.6
	製造販売・環境事業等		25,606	36.6	27,819	35.4
	合 計		70,033	100.0	78,682	100.0
売上高	建設事業	舗装工事	32,961	53.2	35,343	52.6
		土木工事	3,395	5.5	4,016	6.0
		計	36,357	58.7	39,359	58.6
	製造販売・環境事業等		25,606	41.3	27,819	41.4
	合 計		61,963	100.0	67,179	100.0
次期繰越高	建設事業	舗装工事	26,029	80.8	24,516	77.2
		土木工事	6,184	19.2	7,224	22.8
		計	32,213	100.0	31,741	100.0
	製造販売・環境事業等		—	—	—	—
	合 計		32,213	100.0	31,741	100.0